

岡山市水道の布設工事監督者及び水道技術管理者の資格等に関する条例

(趣旨)

第1条 この条例は、水道法（昭和32年法律第177号。以下「法」という。）第12条及び第19条第3項（法第34条第1項において準用する場合を含む。第4条において同じ。）の規定に基づき、技術上の監督業務を行わせる水道の布設工事及び当該工事の施行に関する技術上の監督業務を行う者（以下「布設工事監督者」という。）に必要な資格並びに水道技術管理者に必要な資格について定めるものとする。

(布設工事監督者を配置する工事)

第2条 法第12条第1項に規定する条例で定める水道の布設工事は、法第3条第8項に規定する水道施設の新設又は次に掲げるその増設若しくは改造の工事とする。

- (1) 1日最大給水量、水源の種別、取水地点又は浄水方法の変更に係る工事
- (2) 沈でん池、ろ過池、浄水池、消毒設備又は配水池の新設、増設又は大規模の改造に係る工事

(布設工事監督者の資格)

第3条 法第12条第2項に規定する条例で定める資格は、次のとおりとする。

- (1) 学校教育法（昭和22年法律第26号）による大学（短期大学を除く。以下「大学」という。）の土木工学科又はこれに相当する課程において衛生工学又は水道工学に関する学科目を修めて卒業した後、2年以上水道に関する技術上の実務に従事した経験を有する者
- (2) 大学の土木工学科又はこれに相当する課程において衛生工学及び水道工学に関する学科目以外の学科目を修めて卒業した後、3年以上水道に関する技術上の実務に従事した経験を有する者
- (3) 第1号又は前号に規定する課程及び学科目を修めて卒業した者であって、学校教育法による大学院の研究科において1年以上衛生工学若しくは水道工学に関する課程を専攻した後、又は大学の専攻科において衛生工学若しくは水道工学に関する専攻を修了した後、第1号の卒業者については1年以上、前号の卒業者については2年以上水道に関する技術上の実務に従事した経験を有するもの
- (4) 学校教育法による短期大学又は高等専門学校（以下「短期大学等」という。）において土木科又はこれに相当する課程を修めて卒業した後、5年以上水道に関する技術上の実務に従事した経験を有する者
- (5) 学校教育法による高等学校又は中等教育学校（以下「高等学校等」という。）において土木科又はこれに相当する課程を修めて卒業した後、7年以上水道に関する技術上の実務に従事した経験を有する者
- (6) 大学、短期大学等又は高等学校等において、土木工学以外の工学、理学、農学、医学若しくは薬学に関する学科目又はこれらに相当する学科目を修めて卒業した後、大学を卒業した者については4年以上、短期大学等を卒業した者については6年以上、

高等学校等を卒業した者については8年以上水道に関する技術上の実務に従事した経験を有する者

- (7) 大学，短期大学等又は高等学校等において，工学，理学，農学，医学及び薬学に関する学科目並びにこれらに相当する学科目以外の学科目を修めて卒業した後，大学を卒業した者については5年以上，短期大学等を卒業した者については7年以上，高等学校等を卒業した者については9年以上水道に関する技術上の実務に従事した経験を有する者
- (8) 外国の学校において，第1号若しくは第2号に規定する課程及び学科目，第4号若しくは第5号に規定する課程又は第6号若しくは前号に規定する学科目に相当する課程又は学科目を，それぞれ当該各号に規定する学校において修得する程度と同等以上に修得した後，それぞれ当該各号の卒業生ごとに規定する最低経験年数以上水道に関する技術上の実務に従事した経験を有する者
- (9) 技術士法（昭和58年法律第25号）第4条第1項の規定による第2次試験のうち上下水道部門に合格した者（選択科目として上水道及び工業用水道又は水道環境を選択したものに限る。）であって，1年以上水道に関する技術上の実務に従事した経験を有するもの
- (10) 10年以上水道に関する技術上の実務に従事した経験を有する者
（水道技術管理者の資格）

第4条 法第19条第3項に規定する条例で定める資格は，次のとおりとする。

- (1) 前条各号のいずれかの資格を有する者
- (2) 厚生労働大臣の登録を受けた者が行う水道の管理に関する講習の課程を修了した21日最大給水量が1,000立方メートル以下である専用水道に係る前項第1号の資格については，前条第1号中「2年以上」とあるのは「1年以上」と，同条第2号中「3年以上」とあるのは「1年6月以上」と，同条第3号中「第1号の卒業生については1年以上，前号の卒業生については2年以上」とあるのは「第1号の卒業生については6月以上，前号の卒業生については1年以上」と，同条第4号中「5年以上」とあるのは「2年6月以上」と，同条第5号中「7年以上」とあるのは「3年6月以上」と，同条第6号中「4年以上」とあるのは「2年以上」と，「6年以上」とあるのは「3年以上」と，「8年以上」とあるのは「4年以上」と，同条第7号中「5年以上」とあるのは「2年6月以上」と，「7年以上」とあるのは「3年6月以上」と，「9年以上」とあるのは「4年6月以上」と，同条第8号中「最低経験年数以上」とあるのは「最低経験年数の2分の1以上」と，同条第9号中「1年以上」とあるのは「6月以上」と，同条第10号中「10年以上」とあるのは「5年以上」とそれぞれ読み替えるものとする。

附 則

この条例は，平成25年4月1日から施行する。